

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2004-59853(P2004-59853A)

【公開日】平成16年2月26日(2004.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2004-008

【出願番号】特願2002-223299(P2002-223299)

【国際特許分類第7版】

C 0 9 J 7/02

C 0 9 J 201/00

【F I】

C 0 9 J 7/02 Z

C 0 9 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月6日(2005.7.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

支持体の少なくとも片面に、2層以上積層された粘着剤層を有する両面粘着シートにおいて、損失正接のピークを示す温度が-50以上かつ-20以下であり、かつ損失正接のピークが1.4以上である粘着剤層aを有し、最外層として、損失正接のピークを示す温度が-20を越える粘着剤層bを有する粘着剤層を支持体の少なくとも片面に設けたことを特徴とする両面粘着シート。

【請求項2】

前記粘着剤層aが、損失正接のピークを示す温度が-50以上かつ-30未満の粘着剤層a1と、損失正接のピークを示す温度が-30以上かつ-20以下の粘着剤層a2である請求項1記載の両面粘着シート。

【請求項3】

前記粘着剤層中の粘着剤層bと支持体との間の任意の位置に、損失正接のピークを示す温度が-10以上である粘着剤層又は弾性体層cを有する請求項1又は2の何れかに記載の両面粘着シート。